



信州ESDコンソーシアムの活動について BRを活かしたESD/SDGsの普及と推進

信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設

日本MAB計画支援委員会

水谷 瑞希

長野県におけるESDの課題(2016年時点)



- 自然体験・地域学習は盛ん
- ESDは普及しておらずユネスコスクール加盟はわずか
- 支援・ネットワーク化のニーズ
- 志賀高原BRではESDに注目, ユネスコスクール加盟
- ESD支援のニーズ
- BR活動支援のニーズ

信州ESDコンソーシアム

- ・ 文部科学省「グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業」の採択を受け、平成29年2月に発足
- ・ 信州大学教育学部を中心に、ユネスコスクール、教育委員会、民間ユネスコ協会、企業・団体などが参画
- ・ 活動内容
 1. ユネスコスクールなどの教育組織でのESD推進
 2. ESDに関わる人たちの交流の場を創出
 3. 企業・NPOなどの多様な主体が活動できる機会を創出
 4. コンソーシアムや関係組織の成果の発信
 5. ESD関連情報を共有する場を提供

信州ESDコンソーシアム	17	長野県全域へのESD活動の普及と定着を目標として、信州大学が中心となり、各種団体や学校等の教育機関などが参画して取組を進めている共同体
--------------	----	---

各種研修会

全国組織と協力して、県内のESDに関わる様々なステークホルダーを対象とした研修会を開催

学校に出向いて全ての教員を対象に、教育にESDの視点を取り入れるための実践的な研修会を実施



教員・指導者育成

学部必修「環境教育」や教職
大学院授業でESD/SDGsを
ともに学ぶ

社会教育主事講習で4日間に
わたりESDをテーマに講義と
演習を展開



長野ユネスコ協会青年部「つながる」との協働

- ・ 教育学部生・院生, OBOG, 社会人など約12名が活動
- ・ ユース層へのESD/SDGsの普及・推進



成果発表&交流会の開催

ユネスコスクール等の児童・生徒が信州大学に集まり、日頃の学習成果を発表・交流

2020年度はオンライン開催、県内各地域、全国のユネスコエコパークとも交流



令和2年度 SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業

信州ESDコンソーシアム 成果発表&交流会

ESD(Education of Sustainable Development)は、これから目指すべき持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育です。新しい学習指導要領全体の基盤となる理念として、またSDGs(持続可能な開発目標)達成の礎として、注目が集まるESD。この成果発表&交流会では、各校でESDの学びを実践している子どもたちが、学びの成果を発表し、また交流を通じてその学びを深めます。今回は長野県内だけでなく、各地のユネスコエコパークでESDを実践している学校も、オンラインでつながります。

日時：2021年 **2月6日** 土
10:00～16:00
会場：オンライン開催

参加費 無料/事前申し込み必要：2月4日(木)締め切り

開催概要

日時	令和3年2月6日(土) 10時～16時
会場	オンライン開催
主催	信州ESDコンソーシアム
後援	信州大学教育学部、長野県教育委員会、ESD活動支援センター、中部地方ESD活動支援センター、長野県ユネスコ連絡協議会、一般社団法人長野県環境保全協会、長野ユネスコ協会、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク (ASPUivNet)
協力	信州大学教育学部次世代型学び研究開発センター
申込締切	令和3年2月4日(木)
参加費	無料

信州ESDコンソーシアム

信州ESDコンソ

ユネスコエコパーク (BR) とは？

- ・ ユネスコ (国際連合教育科学文化機関) MAB計画
(Man and the Biosphere Program: 人間と生物圏計画)
 - 人間と自然との共生, 自然資源の持続可能な利用と保全を促進するための科学的研究, 教育, 研修を行う事業
- ・ 生物圏保存地域 (Biosphere Reserve: BR)
 - MAB計画の達成を目的とした国際的な登録保護地区
 - 日本国内ではユネスコエコパークと呼ばれる
 - 持続可能な開発を学ぶ場としても注目されている

ユネスコエコパークとESD

ユネスコエコパークには、持続可能な社会を実現するための鍵となるESDを促進する役割が期待されています

MAB行動計画(2015-2025)の戦略目標

MAB's Strategic Objectives for 2015-2025 derive directly from the three functions of biosphere reserves identified in the Statutory Framework for the WNBR and the key global challenge of climate change, identified in the Madrid Action Plan for Biosphere Reserves. These Strategic Objectives are to:

1. Conserve biodiversity, restore and enhance ecosystem services, and foster the sustainable use of natural resources
2. Contribute to building sustainable, healthy and equitable societies, economies and thriving human settlements in harmony with the biosphere
3. Facilitate biodiversity and sustainability science, education for sustainable development (ESD) and capacity building
4. Support mitigation and adaptation to climate change and other aspects of global environmental change

ユネスコエコパークとSDGs

人と自然の共生を目指すユネスコエコパークは、SDGsの達成に貢献するモデル地域と位置づけられています

22.01.2018 - Natural Sciences Sector

Biosphere Reserves, models to contribute to the implementation of Sustainable Development Goals



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Man and
the Biosphere
Programme



Sustainable
Development
Goals

This year, the Man and the Biosphere (MAB) Programme and its World Network of Biosphere Reserve (WNBR) will be involved in several events that form an important part of the international biodiversity agenda and help implement the Sustainable Development Goals (SDGs).

ユネスコエコパークの機能とSDGs

その目的に持続可能性を内包するユネスコエコパークの機能は、SDGsとも密接に関わっています

保全機能

conservation

人間の生活とその影響も含めて、生物多様性保全上、重要な地域

経済と社会の発展

development

自然と調和した持続可能な発展のモデルとなる取り組み

13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



自然が調和
持続可能な社

8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



4 質の高い教育をみんなに



学術的研究支援

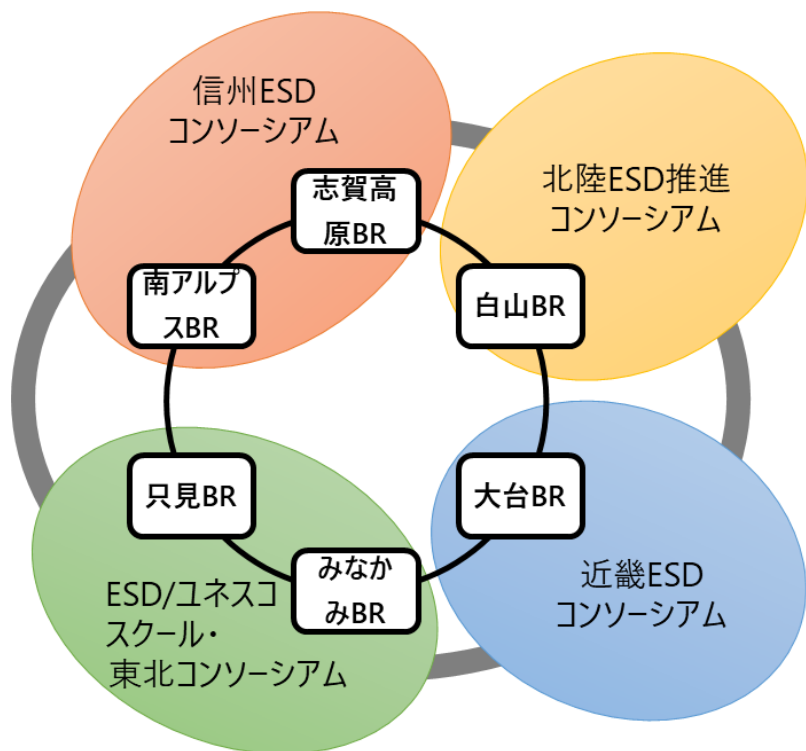
logistic support

持続可能な発展のための調査や研究, 教育・研修

BRを活用したESD/SDGsの推進

BR地域で活動するESDコンソーシアムがネットワークを構築

BR地域でのESD/SDGsの普及・啓発や実践・深化の支援を連携して実施



BRにおけるESD/SDGsの普及・拡大

BRを活用したESD/SDGsに関連するオンラインイベントに9BRの関係者等が参加

成果発表&交流会ではみなかみBR~綾BRのユネスコスクールが参加, 新たな交流も開始

中部地方ESD活動支援センター・ESDダイアログ

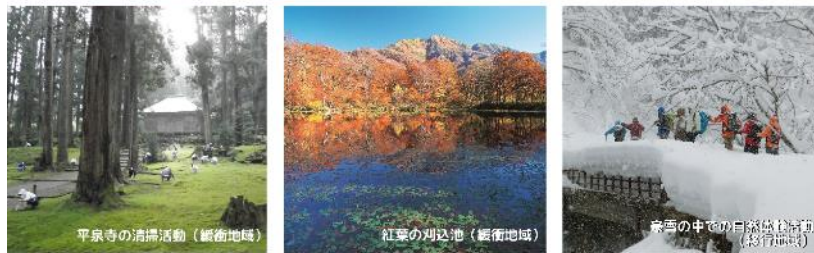
オンライン開催 事前申込要

白山から発信！
ユネスコエコパークを活かした
ESD/SDGsの実践を考える

申込締切 11/10 (火)

開催日時 2020年11月15日(日) 13:30~16:30

ダナ高原から眺める白山(核心地域)



写真提供：白山ユネスコエコパーク協議会

第1部 白山ユネスコエコパークからESDの取組を考える

話題提供

- ① ユネスコエコパークとESD/SDGs
水谷 瑞希氏 信州ESDコンソーシアム(信州大学)
- ② 白山ユネスコエコパークについて
和田 麗氏 白山ユネスコエコパーク協議会事務局(白山市)
- ③ 白山国立公園について
迫 裕樹氏 環境省白山自然保護官事務所 自然保護官

第2部 ユネスコエコパークを活用したESDの実践

BRとESD/SDGs

BRはすぐれたESDの場であり, BRにとってESDはその理念を実現する鍵・BRを活性化・推進するエンジンです

地域学習の資源

- 世界級の自然資源
- 地域社会・文化・伝統

多様な人材育成

- 学校教育, 次世代育成
- 社会教育・連携と協働



保全機能

conservation

人間の生活とその影響も含めて、
生物多様性保全上、重要な地域

経済と社会の発展

development

自然と調和した持続可能な発展の
モデルとなる取り組み

人と自然が調和する

持続可能な社会

学術的研究支援

logistic support

持続可能な発展のための調査や
研究, 教育・研修

4 質の高い教育を
みんなに

